

八幡平 紅葉 (岩手県/秋田県)

八幡平(はちまんたい)は、岩手県と秋田県の県境のなだらかな高原台地で、1956(昭和31)年、山域は十和田八幡国立公園に指定されている。標高約1,610m、約40の火山から成り立っており、火山活動(水蒸気爆発)によって出来た火口に水をたたえた八幡沼をはじめ多くの湖沼やその周辺には湿原が点在する。

八幡平の紅葉は、国内有数の人気紅葉スポットとして知られ、9月下旬から10月上旬にかけて見頃を迎える。岩手県と秋田県をまたぐ全長約27kmの山岳ドライブロード「アスピーテライン」は、視界を遮るものが少ないため、ドライブを楽しみながら道路沿いの錦織り成す景色を見渡し八幡平を横断出来る。周辺には温泉や滝なども点在し、紅葉鑑賞とともに周遊出来る。トレッキングコースを利用し、湖沼や湿原の周りに咲く可憐な高原植物を鑑賞でき、夏にも注目のエリアである。

今夏、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産一覧表への記載が決定した。1万年以上にわたって採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える17の考古遺跡である。八幡平の周辺には、そのうちの御所野遺跡(岩手県)、大湯環状列石(秋田県)が分布し注目を集めている。

<参考>

環境省 日本の国立公園 十和田八幡平国立公園
<https://www.env.go.jp/park/towada/guide/view.html>

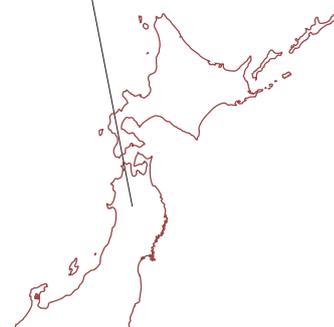
岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」
<https://iwatetabi.jp/index.php>

秋田県公式観光サイト「アキタファン」
<https://akita-fun.jp/>



(表紙の写真)
八幡平 紅葉

場所：岩手県 / 秋田県



<アクセス>八幡平頂上

- 岩手県側
 - ・JR盛岡駅からバスで約120分
 - ・東北自動車道松尾八幡平ICから車で約40分
- 秋田県側
 - ・JR花輪線鹿角花輪駅からバスで約90分
 - ・東北自動車道鹿角八幡平ICから車で約40分